



～学校教育目標～
様似を愛し 自ら考え 進んで学ぶ子
知：主体的に学び仲間と学び合える子
徳：心豊かで挨拶のできる子
体：心身ともに元気でたくましい子

令和7年12月23日 第12号

校長 鹿海 裕子

未来へつながる成長の道筋

本日、後期途中の大切な節目である終業日を迎えました。子どもたちは、10月からの後期前半期間を通して、学習面、生活面において着実に成長の足跡を残しました。

○ 生命の尊さと、揺るぎない安心の土台

この後期前半の期間、私たちは、地震、津波、強風、停電といった自然の力の脅威を感じざるを得ない出来事に何度か直面いたしました。予測不可能な自然の猛威を前に、不安を感じられたご家庭も多くいらっしゃったことと拝察いたします。

そのような状況下で、子どもたち全員が何事もなく、無事に学校生活を送ることができたことが、校長として何より嬉しく、心より安堵しております。生命の安全こそが教育の出発点であり、最優先事項です。学校では、日頃の訓練に加え、これらの経験を教訓として、引き続き「自らの命を守るための最善の行動」について指導を徹底してまいります。ご家庭におかれましても冬休みの機会に改めて、「命を守ること」、緊急時の対応や避難方法について、お子様と話し合っていただくようお願いいたします。

○ これまでに培った「コミュニケーション」と「プレゼンテーション」の力

本校では後期を迎え、これからの社会で不可欠となる「コミュニケーション能力」と「プレゼンテーション能力」の育成に、より一層力を入れてまいりました。

知識の習得に加え、自分の考えを整理し、他者と対話し、協働して問題を解決していく力が求められている中、後期の授業では、グループワークや発表の機会も増え、子どもたちは「相手にどう伝えれば理解してもらえるか」「どうすればクラス全体でより良い意見を導き出せるか」を真剣に考える場面が多々ありました。

特に『ふるさとアポイ学』の様中との交流学習や発表会での、6年生の堂々とした姿、原稿を見るだけでなく、相手の目を見て自分の言葉で表現しようとする態度、そして、友人や先輩の意見にしっかりと耳を傾ける姿は、目覚ましい成長です。参観された方々も大いに感心され、「6年生立派だね」という感想を多くいただきました。

これまでに培ってきた「伝える力」と「聞く力」は、かけがえのない財産です。これらの力を来年にもつなげ、冬休み後の後期後半ではさらに力を伸ばし、学年のまとめを充実させていきます。そして、子どもたち一人一人が希望と自信をもって、来たる四月の次の学年へと向かえるよう、一年間のまとめとなる教育活動を展開してまいります。



○ 未来を創る「今」

結びに、私が最近読んだ本で出会った言葉を皆様と共有させていただきます。

「未来は、今、私たちがすることによって創られる」

子どもたちの未来は、今日、そして明日からの冬休み期間にどのようなことに取り組み、どのような努力をするかという「今」の積み重ねによって創られていきます。

私たち教職員は、これからも全ての子どもたちの笑顔のために、温かく、安心できる学校づくりに全力を尽くしてまいります。そして、子どもたちの成長を支え、見守るという最も大切な役割において、学校と家庭とが連携し、手を携えていくことが、未来を創るための最も確かな力となります。

保護者の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の新しい年が、幸多きものとなりますよう心よりお祈り申し上げ、年末のご挨拶とさせていただきます。

皆様どうぞ、良いお年をお迎えください。

高台への二次避難を受けて

「後発地震注意情報」が発表されている期間中、12月12日(金)11時頃に地震がありましたので、高台への二次避難という対応をとらせていただきました。

保護者の皆様におかれましては急な対応にも関わらず、お迎え等のご対応をしていただき

ありがとうございました。

また、二次避難先の「岡田共立興産」の私有地には、120名近くの児童と教職員が避難させていただきましたが、岡田さんのご厚意で「トイレ」をお借りしたり、寒さを凌ぐために「倉庫」を開放していただいたりするなど、子供たちの安全確保のために様々なご協力をしていただきました。

本当に感謝しかありません。

そのような皆様のご協力により、お子さんたちを無事に保護者の皆様のもとにお返し出来たことに職員一同、安堵いたしました。しかし、そもそも「注意報」だったのになぜ「二次避難」までする必要があったのかという疑問を持たれた方もいらっしゃるかと思います。本来、「地震警報になった場合、二次避難をする」というマニュアルになっていますが、学校といたしましては、「後発地震注意情報期間中」であったこと、中学校と違い「川沿いに学校がある」という立地条件を踏まえて、

「二次避難の実施」と判断させていただきました。

今回、この寒い時期に二次避難を行ったことで、120名近くの児童を避難させるにあたり訓練では見えなかった**課題が明らかになりました。**

今後は、通常のマニュアルに沿った避難対応となりますが、その時の状況に応じて判断し、教職員一丸となって子供たちの命を守るための**準備・マニュアルの見直し**を行っていきます。

冬季避難時における課題等についてPTA役員の皆さんとも協力し、検討していきます。何かお気づきの点がありましたら学校はもちろん**PTA役員の方**にお話いただければと思っております。

地震(12日)当日の動き

11時44分 地震発生

揺れが収まるまで教室待機

11時50分 一時避難

体育館玄関前の砂利に集合

※ジャンパーと靴を持つか着るかして避難場所へ

11時52分 防災無線による呼びかけ

二次避難の決定

高台へ移動

12時10分 高台にて状況判断

※児童はトイレタイム(岡田さん宅へ)

※岡田さんより倉庫の提供(児童は全員中へ)

12時20分 児童の帰宅を決定

※教育委員会と協議

※保護者へテトル(メール)で配信

※児童を地区別に並び替える

12時25分 児童下校

※保護者の車を一方通行に誘導

※児童の名前を確認し、児童乗車

13時15分 補食の提供(残っている児童へ)

※岡田さんにある備蓄クッキーと水の提供

14時05分 注意報解除

※数名の児童と教職員が学校へ戻る

16時10分 児童全員下校

冬季休業中

・始業日の予定

【チャレンジ学習(希望者)】

24日(水)・25日(木)・26日(金)

場所; 公民館 時間; 10:00~

※ 勉強する場にふさわしい態度で臨むように
ご家庭でもお声掛けをお願いします。

【学校閉庁日】

12月27日(土)~1月5日(月)

※ この期間の連絡は、様似町役場へ
します。 36-2111

【学校始業日】

1月16日(金)

4時間授業

(ランチあり 12:45 下校)

下校バス 留崎 13:05

鵜苫 13:07